

フジシダ

Monachosorum maximowiczii (Baker) Hayata
コバノイシカグマ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数ともごく限られているため、森林伐採と開発が進むと絶滅のおそれがある。採取圧もみられるので、県域絶滅危惧Ⅰ類とする。

分 布

全国分布は本州～九州。県内分布は嶺北で2か所、嶺南で1か所確認されている。

種の特徴

常緑性のシダ類。根茎は斜上し、葉の高さ30cm前後に達し、葉柄はやや光沢のある茶褐色で、葉身は単羽状、鋸葉の中に円形の胞子のうをもつ。包膜はなく、葉軸の先がのびて無性芽を付ける。岩場に生育する。

生育を脅かす要因

深山の湿り気のある岩場の減少。園芸採取、森林伐採、自然遷移。

参考文献 中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○						○	○								

ハコネシダ

Adiantum monochlamys D.C.Eaton
イノモトソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で知られている生育地は、大野市のみだが、道路工事や園芸採取によって絶滅のおそれがあるため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

分 布

全国分布は本州～九州。県内分布は大野市のみ。

種の特徴

常緑性のシダ類で岩場に生育する。根茎はごく短くはげ生する。葉柄は高さ8～18cm光沢のある紫褐色～赤褐色。葉身は三角状卵形、高さ10～26cm、3回羽状に分岐する。小葉は無毛、質はかたく倒三角状卵形。基部はくさび形、柄がある。くぼみに胞子のうを1個付ける。

生育を脅かす要因

道路工事、法面ふき付け、園芸採取。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

タキシダ

Antrophyum obovatum Baker
イノモトソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

山地の溪流の岸辺に極稀に生育する。県内では3か所確認されているが、今回の調査では発見できなかった。

分 布

全国分布は本州～九州。県内分布は永平寺町、福井市、越前市。

種の特徴

常緑性で、オオバコ状の小さい葉を出す。胞子のう群は、葉脈にそって網目状に付きヒメサジランと異にする。

生育を脅かす要因

森林伐採等で乾燥化が進むと絶滅する恐れがある。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1987）、
中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
										○		○					○